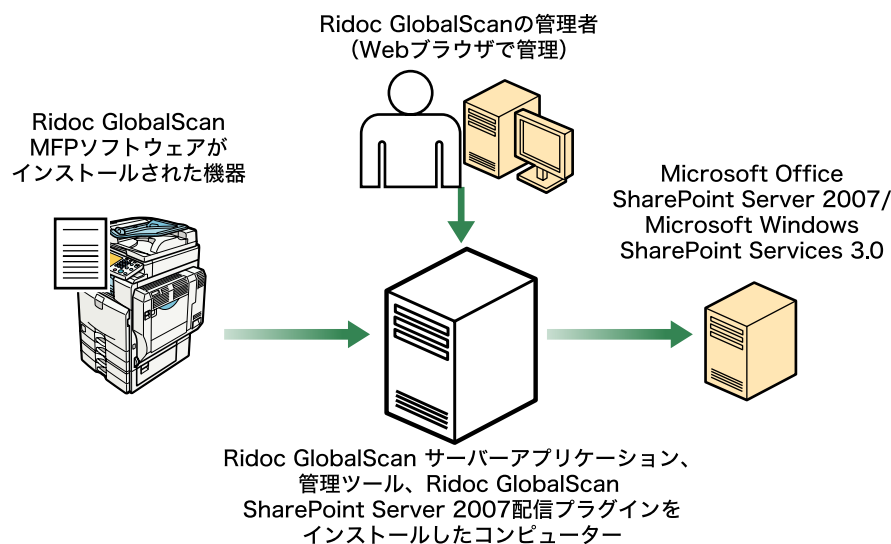


Ridoc GlobalScan

SharePoint Server 2007 配信 プラグイン

管理者ガイド

Ridoc GlobalScan SharePoint Server 2007 配信 プラグイン (SharePoint Server 2007 配信プラグイン) は複合機 (MFP) で読み取った原稿を Microsoft Office SharePoint Server 2007 (MOSS 2007)、または Microsoft Windows SharePoint Services 3.0 (WSS 3.0) へ配信する Ridoc GlobalScan (RGS) のプラグインサービスです。MOSS 2007/WSS 3.0 への文書の配信をはじめ、配信フォルダーの自動生成、MOSS との文書情報の関連付けなどができます。



図：Ridoc GlobalScan SharePoint Server 2007 配信プラグインのワークフロー

↓ 補足

- ・本製品は、RGS サーバー、管理ツール、MFP などの画面では「SharePoint 配信」と表示されます。
- ・この使用説明書は、SharePoint Server 2007 配信プラグインを使用するための設定手順について説明しています。管理者設定、サービス / フィルター設定などについての詳細は、RGS 管理者ガイドを参照してください。
- ・MOSS 2007/WSS 3.0 の設定、操作方法については、MOSS 2007/WSS 3.0 のマニュアルを参照してください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったときに、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

おことわり

- ・大切な文書やデータは必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本製品に異常が生じた場合、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対しては、お客様の責任で必ず予防措置を講じてください。
- ・お客様が本製品を使用して作成した文書やデータに関し、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の一部、または全部を無断で複製、複製、改変、引用、転載することはできません。
- ・本製品および使用説明書を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・動作中に、ディスクの抜き差しをしないでください。

商標

Microsoft®、Office®、SharePoint®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

ご使用の前に

◆ 略称 / 呼称

本書では簡潔化のため以下の略称 / 呼称が使われています。

製品 / 名称	略称 / 呼称
Ridoc GlobalScan	RGS または rgs
Microsoft Office SharePoint Server 2007	MOSS 2007
Microsoft Windows SharePoint Services 3.0	WSS 3.0
Ridoc GlobalScan SharePoint Server 2007 配信プラグイン	SharePoint Server 2007 配信プラグイン
複合機	MFP または機器

◆ 動作環境

- SharePoint Server 2007 配信プラグインが動作するには以下の RGS 標準運用モードがインストールされている RGS サーバーが必要です。
 - Ridoc GlobalScan Version1.5 以降
- SharePoint Server 2007 配信プラグインは以下の Microsoft Office SharePoint Server、および Windows SharePoint Service に対応しています。
 - Microsoft Office SharePoint Server 2007
 - Microsoft Windows SharePoint Services 3.0
- version1.5 より古い Ridoc GlobalScan へ version1.0.7.0 の SharePoint Server 2007 配信プラグインをインストールをする場合は、Ridoc GlobalScan を version1.5 以降にバージョンアップしてから SharePoint Server 2007 配信プラグインをインストールしてください。
- version1.0.7.0 以前の SharePoint Server 配信プラグインからアップデートインストールをするときは、古いバージョンの SharePoint Server 2007 配信プラグインをアンインストールしてから version1.0.7.0 の SharePoint Server 2007 配信プラグインを新たにインストールしてください。

◆ 配信先に設定できるライブラリについて

SharePoint Server 2007 配信プラグインは配信先として以下のライブラリを指定できます。

- ドキュメントライブラリ
- 画像ライブラリ
- Wiki ライブラリ
- フォームライブラリ
- 翻訳管理ライブラリ
- スライドライブラリ

◆ 認証について

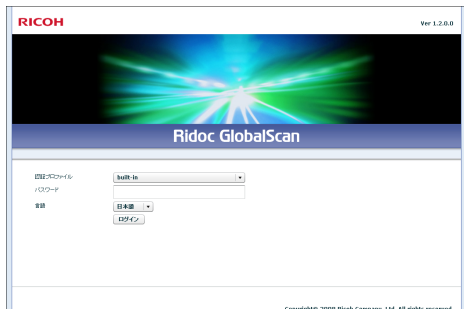
- SharePoint Server 2007 配信プラグインから MOSS 2007/WSS 3.0 へのアクセス時の認証方式は NTLM 認証、NTLMv2 認証、または Kerberos 認証が使用できます。
- Kerberos 配信オプションとの連携、および NTLMv2 認証には SharePoint Server 2007 配信プラグイン version 1.0.7.0 から対応しています。

SharePoint Server 2007 配信プラグインをインストールする

手順 1：インストールの前に

ビルトイン管理者アカウント、または管理者権限で作成されたアカウントで管理ツールにログインしてください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. 以下の URL を入力し、管理ツールにアクセスします。
http://IP アドレス : ポート番号 / 仮想ディレクトリー名 /
(デフォルト : **http://IP アドレス :8080/gsnx/**)
3. [Enter] キーを押すか、[移動] をクリックします。
管理ツールログインページが表示されます。



図：管理ツールログインページ

4. パスワードを入力します。
5. 必要に応じて言語を選択します。
6. [ログイン] をクリックします。
管理ツールホーム画面が表示されます。
7. [メンテナンス設定] をクリックします。



図：管理ツールホーム画面

8. [システム制御] をクリックします。
9. [配信サービスの状態を切り替える] をクリックし、「現在の配信サービス状態」を「配信停止中」に切り替えます。

↓ 補足

- ・「現在の配信サービス状態」にある [更新] をクリックすると、最新の配信サービス状態に更新されます。

10. [はい] をクリックします。
11. [ログアウト] をクリックし、管理ツールからログアウトします。

手順 2：インストールする

1. コンピューターで動作中のすべてのアプリケーションを終了します。
2. **GSLaunch.exe** をダブルクリックします。
3. [Ridoc GlobalScan SharePoint Server 2007 配信プラグイン] をクリックします。
インストール開始画面が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
5. ライセンス利用許諾を確認して同意を選択し、[次へ] をクリックします。
6. シリアル番号を入力し、[次へ] をクリックします。
7. [次へ] をクリックします。

↓ 補足

- ・インストール先は RGS がインストールされているフォルダーが指定されます。

8. [次へ] をクリックします。
SharePoint Server 2007 配信プラグインのインストールが開始されます。
9. [完了] をクリックします。
コンピューターの再起動が必要な場合は確認のメッセージが表示されます。[OK] をクリックして再起動してください。

手順 3：配信処理を再開する

1. 管理ツールへログインします。

目 参照

- ・ログイン方法については、P.3「手順 1：インストールの前に」を参照してください。

2. [メンテナンス設定] をクリックします。
3. [システム制御] をクリックします。
4. [配信サービスの状態を切り替える] をクリックし、「現在の配信サービス状態」を「配信実行中」に切り替えます。

↓ 補足

- ・「現在の配信サービス状態」にある [更新] をクリックすると、最新の配信サービス状態に更新されます。

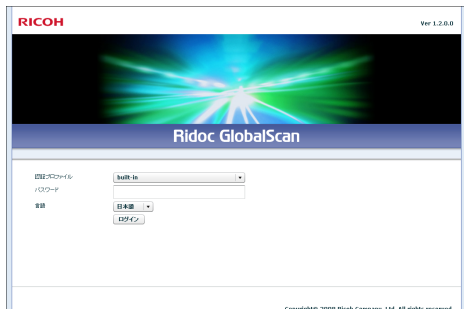
5. [ログアウト] をクリックし、管理ツールからログアウトします。続けて SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する場合は、ログアウトせずに [ホーム] をクリックし、P.4「SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する」の「手順 2：プロファイルを追加する」へ進んでください。

SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する

手順 1：管理ツールへのログイン

ビルトイン管理者アカウント、または管理者権限で作成されたアカウントで管理ツールにログインしてください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. 以下の URL を入力し、管理ツールにアクセスします。
http://IP アドレス : ポート番号 / 仮想ディレクトリー名 / (デフォルト : http://IP アドレス :8080/gsnx/)
3. [Enter] キーを押すか、[移動] をクリックします。
管理ツールログインページが表示されます。



図：管理ツールログインページ

4. パスワードを入力します。
5. 必要に応じて言語を選択します。
6. [ログイン] をクリックします。
管理ツールホーム画面が表示されます。

手順 2：プロファイルを追加する

1. [プロファイル] をクリックします。



図：管理ツールホーム画面

2. [新規作成] をクリックします。
プロファイルのプロパティ画面が表示されます。

↓ 補足

- すでに登録されているプロファイルに SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する場合は、P.4 「手順 3：グループを追加する」に進んでください。

3. プロファイル名を入力します。
4. 画面タイトルを入力します。
5. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- プロファイル名は全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。

- 画面タイトルは全角 25 文字、半角 50 文字まで入力できます。
- プロファイルについての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。

手順 3：グループを追加する

1. プロファイル一覧からプロファイル名をダブルクリックします。
グループ / プロジェクト画面が表示されます。



図：グループ / プロジェクト画面

↓ 補足

- すでに登録されているグループに SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する場合は、グループをクリックし、P.4 「手順 4：プロジェクトを追加する」に進んでください。

2. 左上にある [グループ] をクリックします。
グループのプロパティ画面が表示されます。
3. グループ名を入力します。
4. [表示] を [オン] にします。
5. [OK] をクリックします。
グループ / プロジェクト画面に入力したグループ名がタブとして表示されます。

↓ 補足

- グループ名は全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。
- グループについての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。

手順 4：プロジェクトを追加する

1. [プロジェクト] をグループ / プロジェクト画面にドラッグ & ドロップします。
プロジェクトのプロパティ画面が表示されます。

↓ 補足

- すでに登録されているプロジェクトに SharePoint Server 2007 配信プラグインを追加する場合は、プロジェクトをクリックし、P.5 「手順 5：サービス・フィルターを追加する / 配信フローを作成する」に進んでください。

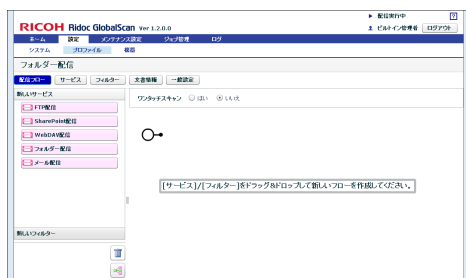
2. プロジェクト名を入力します。
3. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- プロジェクト名は全角 64 文字、半角 128 文字まで入力できます。
- プロジェクトについての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。

手順 5：サービス・フィルターを追加する / 配信フローを作成する

1. プロジェクトをダブルクリックします。
プロジェクトの設定画面が表示されます。
2. [新しいサービス]の中から[SharePoint 配信]を選び、
配信フロー編集画面にドラッグ&ドロップします。



図：配信フロー編集画面

↓ 補足

- ・ [] をクリックすると、配信フロー編集画面のサービス・フィルターが自動で整列されます。
 - ・ 追加したサービス・フィルターをフローから削除するには項目を選択し、[] にドラッグ&ドロップします。
 - ・ 配信フローについての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。
3. 必要に応じてフィルターを追加します。
 4. 配信フローに追加したサービス・フィルターの半分より下の部分をダブルクリックします。
プロパティ画面が表示されます。
 5. 必要に応じて各プロパティを設定します。
- ### ↓ 補足
- ・ サービス・フィルターのプロパティ設定には 3 種類のレベル（システムレベル、プロファイルレベル、プロジェクトレベル）があります。ここではプロジェクトレベルでのプロパティ設定を例に説明しています。その他のレベルでのプロパティ設定については、RGS の管理者ガイドを参照してください。
 - ・ 設定内容は各サービスによって異なります。設定方法についての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。また、オプションのサービス・フィルタープラグインを使用する場合は、各プラグインの管理者ガイドを参照してください。
 - ・ SharePoint Server 2007 配信プラグインのプロパティ設定については、P.6「SharePoint Server 2007 配信プラグインを設定する」を参照してください。
6. [適用]をクリックしてから[OK]をクリックしてグループ/プロジェクト画面に戻ります。

手順 6：MFP を設定する

1. [ホーム]をクリックします。
2. [機器]をクリックします。
管理ツールホーム画面が表示されます。



図：管理ツールホーム画面

3. 以下の方法のいずれかで MFP を追加します。

直接入力で MFP を追加する

- a. [新規追加]をクリックします。
機器追加画面が表示されます。
- b. [直接指定する]を選択した状態で、追加したい MFP の IP アドレス、またはホスト名を入力し、[次へ]をクリックします。
- c. 4. へ進みます。

検索して MFP を追加する

- a. [新規追加]をクリックします。
機器追加画面が表示されます。
 - b. [一覧から選ぶ]をクリックします。
 - c. [検索]をクリックします。
画面に追加できる MFP のリストが表示されます。
 - d. 追加したい MFP にチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。
 - e. 4. へ進みます。
4. 機器のプロパティで、[機器名]、[プロファイル名]を指定し、[スキャナーを利用する]で[はい]を指定します。
 5. [OK]をクリックします。

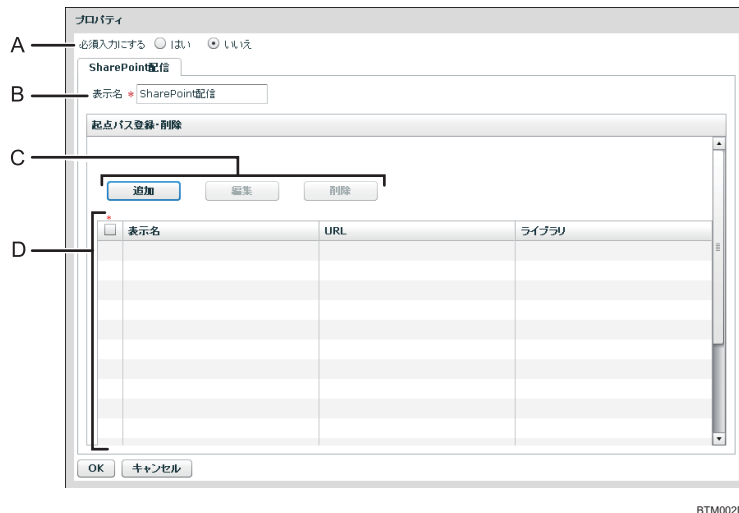
SharePoint Server 2007 配信プラグインを設定する

手順 1：起点パスを設定する

SharePoint Server 2007 配信プラグインのプロパティを開き、MOSS 2007/WSS 3.0 への接続するための各種設定を行います。

サービスのプロパティ設定には 3 種類のレベル（システムレベル、プロファイルレベル、プロジェクトレベル）があります。ここではプロジェクトレベルでのプロパティ設定を例に説明します。

起点パス登録・削除画面



図：起点パス登録・削除画面

↓ 補足

- 画面に*マークがついている項目は設定が必須です。

A. 必須入力にする（プロジェクトレベルでの設定のみ）

このサービスを必須にするかどうかを選択します。

[はい]を指定した場合、少なくとも 1 つ起点パスが配信先として指定されていないと、配信フローが続行されません。[いいえ]を指定した場合、起点パスが指定されていなくても、配信フローが続行されます。

B. 表示名（プロジェクトレベルでの設定のみ）

このサービスの表示名を入力します。

↓ 補足

- 表示名は 30 文字まで入力可能です。

C. 追加 / 編集 / 削除

追加：配信先の起点パスを新たに設定します。

編集：起点パステーブルから登録済み起点パスを選択し、起点パスの設定内容を変更します。

削除：起点パステーブルから登録済み起点パスを選択し、起点パスを削除します。

D. 起点パステーブル

登録済み起点パスの一覧が表示されます。

起点パスを編集または削除したい時は、一覧から目的の起点パスにチェックマークをつけ起点パスを選択します。

設定手順

1. [ホーム]をクリックします。
2. [プロファイル]をクリックします。
3. 目的のプロファイルをダブルクリックします。
4. 目的のプロジェクトをダブルクリックします。
5. 配信フローに追加した [SharePoint 配信] サービスの半分より下の部分をダブルクリックします。
プロパティ画面が表示されます。
6. 必要に応じて「必須入力にする」、「表示名」を設定します。
7. [追加]を押します。
8. P.7「手順 2：起点パスを追加する」の設定手順へ進んでください。

手順 2：起点パスを追加する

配信先の MOSS 2007/WSS 3.0 に接続し、配信するライブラリの指定やサブフォルダー / ファイル名の設定ルールを指定します。

起点パスの追加画面 - 基本設定

図：起点パスの追加画面 - 基本設定

↓ 補足

- 画面に*マークがついている項目は設定が必須です。

A. 表示名

設定する起点パスの表示名を入力します。

↓ 補足

- 表示名は 128 文字まで入力可能です。

B. URL

配信先の MOSS 2007/WSS 3.0 サイトの URL を入力します。

URL は http://IP アドレス（または DNS 名）：ポート番号 / サイト名 / の形式で入力してください。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://IP アドレス（または DNS 名）：ポート番号 / サイト名」の形式で入力します。

↓ 補足

- MOSS 2007/WSS 3.0 側で SSL を設定している場合は、事前にサイト証明書をインポートする必要があります。詳しくは RGS の管理者ガイドを参照してください。

C. 認証方法

使用する認証方法を以下から選択します。

ここで指定する情報は、配信先 URL へのアクセスおよび読み取った文書の保存時に使用されます。

- 「固定ユーザー」
[ユーザー名]、および [パスワード] に指定されている情報を認証に使用します。
- 「ログインユーザー」
プロジェクトのログイン情報を認証に使用します。

↓ 補足

- 「ログインユーザー」を選択する場合でも、管理ツールを使用してフォルダー、ライブラリー情報、SPS 列情報を参照するには、[ユーザー名] および [パスワード] を入力します。
- Active Directory ユーザー確認または LDAP ユーザー確認を設定している場合、[ログインユーザー] を認証方式として選択しないでください。ログイン情報にパスワードが含まれていないため、MOSS 2007/WSS 3.0 側で認証できません。

D. ユーザー名

配信先の MOSS 2007/WSS 3.0 にログインするユーザー名を入力します。

サーバーがドメイン情報を必要とする場合、ユーザー名は "domain¥username" の形式で入力します。

E. パスワード

配信先の MOSS 2007/WSS3.0 にログインするユーザーのパスワードを入力します。

F. 認証プロファイル

Kerberos チケットを使用して配信する場合に、登録されている Active Directory 認証プロファイルを選択します。Kerberos 配信オプションを使用するには、RGS のシステム設定にある [Kerberos 配信オプション] のドロップダウンメニューで [SharePoint 配信] を選択してから、Kerberos チケットを使用した認証の方法を選択してください。Kerberos 配信オプションを [認証時に Kerberos 認証で取得したチケットのみを使う] に設定した場合は、必ず認証プロファイルを選択してください。Kerberos 配信オプションについての詳細は、RGS の管理者ガイドを参照してください。

G. 接続（接続解除）

入力した URL、ユーザー名、パスワードを用いて MOSS 2007/WSS 3.0 へ接続します。

接続に成功するとこの接続情報が確定され、「URL」、「ユーザー名」の入力ができなくなります。また、MOSS 2007/WSS 3.0 からライブラリ情報を取得し、「ライブラリ」のメニューに表示できるようになります。

Kerberos 配信オプションを [認証時に Kerberos 認証で取得したチケットのみを使う] に設定した場合は、認証プロファイルを選択したときのみ接続できます。

・ 接続解除

一度接続に成功するとボタン名が [接続] から [接続解除] へ変わります。接続先を再指定したい場合は、[接続解除] を押してください。接続解除すると、設定されているライブラリと SPS 列設定の内容がすべて削除され、URL、ユーザー名が再編集できるようになります。

H. ライブラリ

配信先のライブラリを選択します。

[接続] を押して接続に成功すると、閲覧権限のあるライブラリ一覧が表示されます。



- ・ 一覧には書き込み権限がないライブラリも表示されます。
- ・ 配信先に指定できるライブラリについては、P.2「ご使用の前に」を参照してください。

I. サブフォルダーへのアクセス

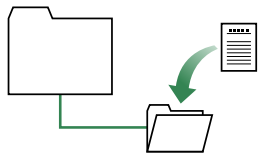
MFP の操作部で配信先を指定する時に、ライブラリ内のサブフォルダーを表示 / 選択できるようにするかしないか設定します。サブフォルダーの表示 / 選択を許可する場合はチェックマークをつけてください。

J. サブフォルダーを作成する

[配信時にサブフォルダーを作成する] にチェックマークを付けると、配信先フォルダーの下にサブフォルダーが作成されます。

・ チェックマークを付けた場合

配信先フォルダーの下にフォルダーが自動的に作成され、読み取った文書がそのサブフォルダーに配信されます。チェックマークをつけた場合は、「フォルダ名の規則」を設定してください。



・ チェックマークを外した場合

サブフォルダーは作成されません。読み取った文書は、指定の配信先フォルダーに配信されます。



K. フォルダー名の規則

以下の 2 種類の方法で、作成するサブフォルダーの名称を指定します。

・ 既存の文書情報から選択

ドロップダウンリストから、フォルダー名として使用したい文書情報項目を選択します。選択できるのは、RGS の主要な文書情報項目だけです。

・ 直接入力

フォルダー名を直接入力します。

パスの区切り記号を含めると、サブフォルダーの下にさらにフォルダーを作成できます。たとえば、「abc/xyz」と入力すると、フォルダー「abc」がルートフォルダーの下に作成され、さらにその下にフォルダー「xyz」が作成されます。この場合、読み取った文書は「xyz」に保存されます。

カスタム文書情報など、ドロップダウンリストから選択できない文書情報項目を入力する場合は、項目名 (ID) を波カッコ ({}) で囲んで文書情報項目を入力します。

入力した文字列と、文書情報項目を組み合わせたフォルダー名にする場合は、直接入力する文字列と、波カッコ ({}) に囲まれた文書情報項目を組み合わせて入力します。たとえば、「報告書 ({userName})」と入力する場合、userName の値が「佐藤」のときは、フォルダー名は「報告書 (佐藤)」となります。

↓ 補足

- ・ 「直接入力」は 255 文字まで入力可能です。
- ・ パスの区切り記号には「/」を入力してください。「¥」は使用できません。
- ・ 以下の文字はフォルダー名としては使用できません。使用した場合、自動的に「_」に置き換えられます。ただし、「/」は「_」に置き換わずに、パスの区切り記号として認識されます。

使用できない文字	~ " # % & * : < > ? / ¥ { }
----------	-------------------------------

- ・ フォルダー名が「.」や半角スペースで開始、または終了している場合、「.」、半角スペースは自動的に「_」に置き換えられます。
- ・ フォルダー名に連続した「.」を使用している場合、連続した「.」は自動的に 1 つに置き換えられます。

また、サブフォルダーの作成時に以下のオプションを有効にするかしないか設定できます。

・ フォルダーにサフィックスを追加する

このオプションを選択すると、同じ名称のサブフォルダーがすでに存在する場合、サブフォルダーにサフィックスが追加されます。サフィックスは 1 ~ 99 の数字で、フォルダー名が重複しないように 1 ずつ増えます。サフィックスが 99 を超えると、エラーが発生します。

このオプションを選択しない場合に同じ名称のサブフォルダーがすでに存在するときは、サブフォルダーは作成されず、読み取った文書は既存のフォルダーに保存されます。

L. ファイル名の規則

以下の 2 種類の方法で、配信先フォルダーに保存するファイルの名称を指定します。

・ 既存の文書情報から選択

ドロップダウンリストから、ファイル名として使用したい文書情報項目を選択します。選択できるのは、RGS の主要な文書情報項目だけです。

・ 直接入力

ファイル名を直接入力します。

カスタム文書情報など、ドロップダウンリストから選択できない文書情報項目を入力する場合は、項目名 (ID) を波カッコ ({}) で囲んで文書情報項目を入力します。

入力した文字列と、文書情報項目を組み合わせたファイル名にする場合は、直接入力する文字列と、波カッコ ({}) に囲まれた文書情報項目を組み合わせて入力します。たとえば、「報告書 ({userName})」と入力する場合、userName の値が「佐藤」のときは、フォルダー名は「報告書 (佐藤)」となります。

↓ 補足

- ・ 以下の文字はファイル名としては使用できません。使用した場合、自動的に「_」に置き換えられます。
- | | |
|----------|-------------------------------|
| 使用できない文字 | ~ " # % & * : < > ? / ¥ { } |
|----------|-------------------------------|
- ・ ファイル名が「.」で開始、または終了している場合、「.」は自動的に「_」に置き換えられます。
 - ・ 同じ名称のファイルがすでに存在する場合、ファイル名にサフィックスが追加されます。サフィックスは 1 ~ 99 の数字で、ファイル名が重複しないように 1 ずつ増えます。サフィックスが 99 を超えると、エラーが発生します。

設定手順

1. 「表示名」、「URL」「認証方法」、「ユーザー名」、「パスワード」を設定します。
2. [接続]を押します。
3. 「ライブラリ」を設定します。
4. 必要に応じて「サブフォルダーへのアクセス」、「サブフォルダーを作成する」を設定します。
5. 4. で「サブフォルダーを作成する」にチェックマークをつけた場合は、「フォルダー名の規則」を設定します。
6. P.10「手順 3：列を設定する」へ進んでください。

手順 3：列を設定する

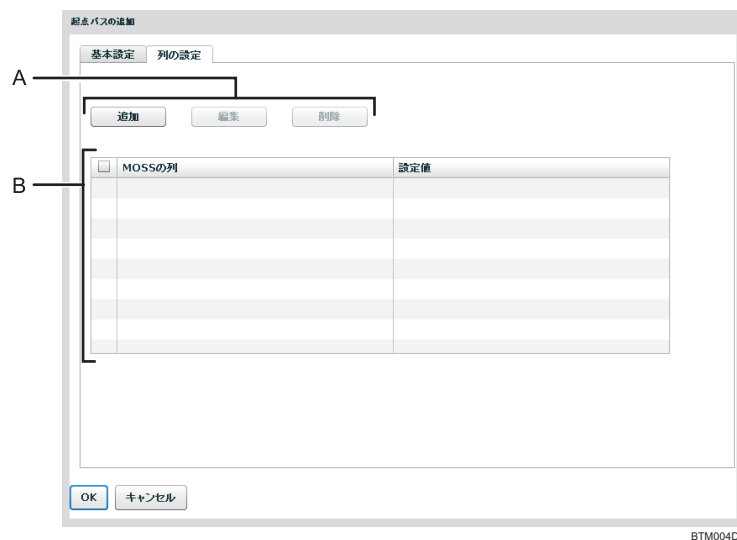
配信先に指定したライブラリのプロパティ列の設定値を設定することができます。

原稿読み取り時に設定する文書情報の項目名を MOSS 2007/WSS 3.0 のプロパティ列として追加 / 関連付けすることで、文書情報を共通化し文書管理の効率化を向上します。

↓ 補足

- 設定値の追加は最大 1,000 以内にすることを推奨します。

起点パスの追加画面 - 列の設定



図：起点パスの追加画面 - 列の設定タブ

A. 追加 / 編集 / 削除

追加：文書情報関連付けを新たに追加します。

編集：登録済みの文書情報関連付けを選択して編集します。

削除：登録済みの文書情報関連付けを選択して削除します。

B. 列設定一覧テーブル

[MOSS の列]、[設定値] が表示されます。

[MOSS の列] は、「MOSS 2007/WSS 3.0 の列表示名 [Field Type]」が表示されます。

列の設定の登録画面



図：列の設定の登録画面

↓ 補足

- 画面に*マークがついている項目は設定が必須です。

A. MOSS の列

基本設定タブの「ライブラリ」で設定した MOSS 2007/WSS 3.0 のライブラリの列項目の一覧を「Field 表示名 [Field Type]」の形式で表示します。

↓ 補足

- 一覧には変更可能なライブラリ列の項目のみが表示されます。
- 文書作成日、プロジェクトの文書情報で指定した日付項目、プロジェクトの文書情報で指定したチェックボックスについては、文書読み取り時に自動的に MOSS 2007/WSS 3.0 のライブラリ列に変換されて配信されます。
- 設定可能な Field Type は以下のとおりです。
 - 一行テキスト、参照
文字列を設定します。
 - 数値
数値を表す文字列を設定します。
 - はい/いいえ（チェックボックス）
“TRUE”、“FALSE”、“1”、“0”のいずれかの文字列を設定します。
 - 通貨
通貨などの数値を表す文字列を設定します。
 - 複数行テキスト
複数行の文字列を設定します。
 - 選択肢（ラジオボタン/ドロップダウンメニュー）
ラジオボタンやドロップダウンメニューなどの文字列を設定します。
 - 日付と時刻
日付や時刻など「MM/DD/YYYY hh:mm am/pm」の形式の文字列を設定します。
「hh:mm」、「am/pm」は省略可能です。
 - ハイパーリンク、画像
URL 形式の文字列を設定します。

B. 設定値

ライブラリ列に追加 / 関連付けしたい RGS の文書情報の項目を設定します。

RGS の文書情報から選択するときは「既存の文書情報から選択」で項目を設定します。

「直接入力」では、文書情報設定で定義したタグの指定や、文字列を自由に設定します。

複数の文書情報を組み合わせて設定したり、任意の文字列を入力することができます。

設定手順

1. SharePoint Server 2007 配信プラグインのプロパティ画面で、[列の設定] タブをクリックします。
2. [追加] をクリックします。
3. 「MOSS の列」で、関連付けしたい SPS 列を選択します。
4. 設定値を設定します。
5. [OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。
7. P.12「手順 4：MFP 画面を設定する」の設定手順に進んでください。

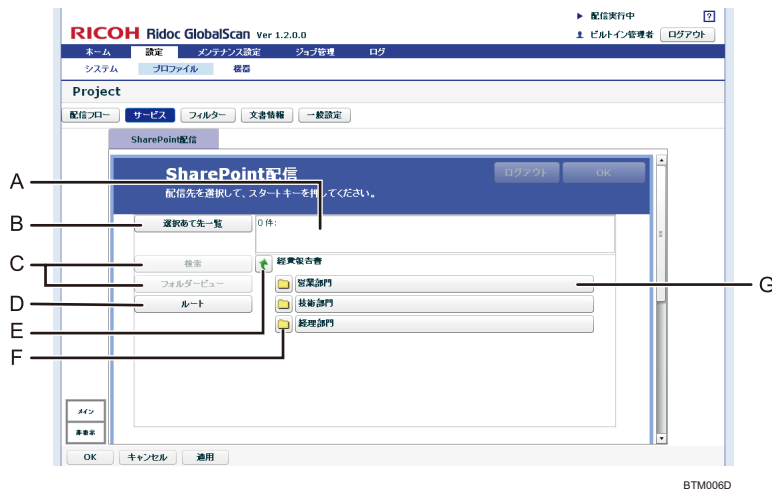
手順 4：MFP 画面を設定する

MFP の操作部画面に表示させる SharePoint Server 2007 配信プラグインの項目を設定します。また、各項目の初期値、項目の表示 / 非表示を変更できます。

↓ 補足

- 「配信先フォルダー一覧」以外の項目は表示 / 非表示の設定ができますが、項目ごとに個別で設定はできません。

MFP サービス設定画面



図：MFP サービス設定画面

A. 配信先フォルダー一覧

選択されているあて先数とフォルダー名が表示されます。
表示 / 非表示の設定はできません。
表示される形式は、「[表示名] フォルダー」で表示されます。

B. 選択あて先一覧

選択あて先一覧画面に、選択した配信先フォルダーが表示されます。
選択あて先一覧画面では、フォルダーの選択を解除できます。[全てリセット] を押すと、選択あて先一覧がすべて解除されます。

C. 検索、フォルダービュー

SharePoint Server 2007 配信プラグインでは使用しません。

D. ルート

ルートフォルダーを表示している画面に戻ります。
「起点パスの追加画面 - 基本設定」で設定した [表示名] が表示されます。

E.

1 階層上のフォルダーが表示されます。
このボタンはサブフォルダーが表示されているときに有効です。

F.

選択したルートフォルダーのサブフォルダーを表示できます。管理者がサブフォルダーの表示を無効にしている場合、ボタンがグレー表示になります。「起点パスの追加画面 - 基本設定」で「サブフォルダーへのアクセス」にチェックをつけていない場合は、選択できません。

G. フォルダーブラウザ

フォルダー名を選択すると、フォルダーを選択あて先一覧に追加できます。

設定手順

- [サービス] をクリックします。
- 必要に応じて各項目の表示 / 非表示、初期値を設定します。
- [OK] をクリックします。